



とも たの 偕に楽しむ

紅葉も見頃で、多くの参加者がありました！



11月23日(日・祝)に「紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむ集い」が開催されました。良い天気にも恵まれ、50名の参加がありました。準備運動にも力が入り、また高橋水戸市長からご挨拶もいただき、記念写真を撮り元気に出発しました。

梅桜橋を渡って偕楽園西門から水車小屋を通り、江戸時代中期ごろに建てられた直屋(すごや)型農家の旧茂木家を見学。そこから茶室の前を歩いてイチョウ並木に彩られた歴史館の庭園に到着。ここで少し時間を取って、トイレ休憩と自由散策。雄のイチョウの葉を探しましたがなかなか

見つかりませんでした。その後は、県道30号へ出てみじ谷へ向かいました。交通量が多いため注意しながら側道を通りました。みじ谷へ入ると彩りが最高で、「おう!!」という声が洩れ聞こえました。11時半過ぎには出発地点の窈窕広場に戻り、お弁当を受け取りそれぞれブルーシートに座り、美味しくいただきました。ゆっくり楽しみながらのウォーキングでした。

午後からは恒例の〇×クイズ。今回はイチョウに関するものが多く出されましたが、皆さん問題なく答えられて景品を手に入れました。

交流委員会 岡野 一紀



第16回 大名庭園サミット広島大会に参加しました



発表する三石会長

令和7年11月6、7日に開催された「第16回 大名庭園サミット広島大会」に参加しました。今回のテーマは「大名庭園の災害、再生から未来へ」、当会からは8名が参加しました。

基調講演は、広島県立歴史博物館アドバイザーの白井比佐雄氏による「宝暦の広島大火と縮景園」でした。江戸時代中期に発生した広島城下の火災とそこからの復興、新たな要素を積極的に取り入れつつ、伝えるべき要素は守ったとの講演でした。

基調講演の後のパネルディスカッションでは、各団体がテーマに沿った発表を行いました。本会の発表は、水戸の空襲と好文亭全焼、そこからの復元復興の様子。文化財の復興には市民の力が欠かせないこと、ノウハウ・情報の蓄積および共有が必要なことを訴えました。交流懇親会では、偕楽園記碑の冒頭部分を会場の皆様と素読をして盛り上がりました。

翌日のエクスカージョンは平和記念公園、平和記念資料館、縮景園を見学しました。平和記念資料館ではすすり泣く声が聞こえ、胸につまされました。縮景園では明月亭にて煎茶の接待を受けました。園内には被爆された樹木が3本残っているとのこと。案内していただいたボランティアの人たちが、身近に被爆者が居るという現実には驚く、広島大会でした。

交流委員会 岡野 一紀



広島大会の参加者たち

あなたも大名庭園サミットに参加しませんか？

大名庭園サミットは、偕楽園、兼六園(金沢)、後楽園(岡山)をはじめ、全国10の大名庭園で活動する市民団体で構成された「大名庭園民間交流協議会」が毎年行っている交流会です。令和8年度は会津で開催されます。今回は水戸から近いこともあり、バスを借り切って参加を予定しています。他団体との交流の機会になりますので奮ってご参加ください。参加をご検討の方は参加登録をお願いします。参加登録をされた方には詳細が決まりましたら改めてご案内致します。



会津 鶴ヶ城

(参加登録だけでは参加申込みになりません。)

※ 締 切：2026年6月30日(火)

※ 応募資格：本会の会員であること(詳細は事務局までお問い合わせください。)

大名庭園サミット 会津大会の概要(予定)

1日目 10/29(木)

1.基調講演 2.各団体からの発表 3.交流懇親会(他団体との交流を深めます。)

2日目 10/30(金)

4.エクスカージョン(ガイドの説明を聞きながら、鶴ヶ城、御薬園を巡ります。)

委員会だより ～2～

新しい花壇で花パートナー活動がスタートしました

昨年春から「偕楽園公園センター」脇に新しい花壇を整備して頂き、花パートナーの活動が始まり一年が過ぎました。新しい環境となり、日照や風当たり、気温など、また大樹や西側の杉山の影響はどうなのか不安な出発ではありました。春から植えた花々はとても元気に育ち、想像以上の開花を喜びました。種から育てたひまわりも「いば6」に投稿、反響があり皆で達成感を覚えました。しかしその後のコスモスは成長せず寂しい結果となり、いろいろ課題が残りました。この環境でどのような植物が合うのか？ 経験した事を活かし、時間はかかりますが皆さんと楽しく「見て頂ける花壇」を目標に力を合わせ活動していきたいと思えます。



種から育て、きれいに咲いたひまわり

魅力向上委員会 花パートナー担当 大森 とみ代

偕楽園公園で健康づくり

毎月第3土曜日、朝6時半から偕楽園公園の^{ようちようひろば}窈窕広場で、ヨガとウォーキングを楽しんでみませんか？

初春の梅、瑞々しい新緑、秋の紅葉のトンネル、そして冬の澄み渡る空気。四季折々の景色の中で身体を動かすひとときは、最高のリフレッシュになると大変好評です。口コミで活動が広がり、活動8年目の現在は毎回20名ほどが集まる賑やかな場となりました。ぜひ当「偕楽園公園を愛する市民の会」の会員の皆様とも、この素晴らしい時間を分かち合いたいと願っております。



青空の下でヨガを楽しんでいます！

予約や参加費は不要です。どなたでも、ご家族やお友達をお誘いになり、お気軽にお越しください！

魅力向上委員会 朝活ヨガ・ウォーキング担当 鯉沼 千加子

AIの時代にこそ大切な事を学ぶ 弘道館やさしい論語塾

厳しい夏の暑さがようやく落ち着いた9月から後半の授業が始まりました。授業が行なわれている弘道館の至善堂には、秋の静けさや冬の凜とした空気が流れ、春や夏とは、また違った趣の中で論語を学びます。9月、11月は小堀優先生、そして10月、12月は小坏のり子先生が授業をして下さいました。AIがどんどん広がり一瞬で情報や答えを得られる時代ですが、だからこそ、藩校当時と同じ空間で約2500年前の教えから思いやりや生きる知恵を学び、考える時間はあらためて大切だと感じました。先生方のお話に大きく頷き、授業後にも感想を伝えに行かれる光景は、毎回、嬉しい気持ちになります。一方で子どもさんの参加が少なくなっていますので、親子で論語に親しんでいただけるような取り組みをしていきたいと思えます。



講師の話じっくり聴く参加者

論語委員会 鈴木 律子

委員会だより ～1～

—— 2月の「私たちの考えた『楽しい梅染め』」展に702人の来場者 ——

魅力向上委員会の花パートナーの皆さんを中心に、令和7年度後半も梅染め活動を展開しました。10月28日から30日まで、JAクオリテラボ(水戸全農会1階)で梅染め作品展を開催し、期間中100名を超える来場者があり、会員が交代で梅染めや本会の活動を紹介しました。

また、うめまつりに合わせ、2月17日(火)から22日(日)まで偕楽園公園センターギャラリーで作品展を開催し、6日間で702人が来場を数えました。展示会には本会のほか、「水戸の梅染めの明日を考える会」「智学館中等教育学校」「木もれ陽」「文化デザイナー学院」の5団体が参加しました。さらに、青野商店(提灯)、那珂湊張り子作家、水戸観光コンベンション協会(御城印)にも、梅染めた西ノ内紙を用いた作品を特別出品していただきました。期間中の2月21日(土)に「梅染めコースターづくり」のワークショップを開催し、午前・午後合わせて35人が参加し、偕楽園の剪定枝を用いた梅染めを楽しく体験しました。 魅力向上委員会 林 和男



10月の梅染展の展示風景



盛況だった2月の梅染め展

— 「歴史アドバイザーに学ぶ 偕楽園・弘道館の魅力」令和7年度は3回実施しました! —

歴史アドバイザー水戸の会員であり、偕楽園・弘道館を訪れる県内外からの旅行客、一般市民を対象にガイド業務に携わる岡野一紀氏を講師に迎え、その魅力をどのように伝えているか、実際に歩きながら話して頂く「歴史アドバイザーに学ぶ 偕楽園・弘道館の魅力」、令和7年度は、9月25日に萩まつり期間中の偕楽園本園、12月12日に冬まだ浅い候の弘道館、令和8年3月11日に梅まつり期間中の偕楽園本園にて、3回実施しました。それぞれ、5名、9名、6名の参加があり、説明を聴きながら園内を巡りました。普段何気なく歩いているだけでは気が付かない偕楽園・弘道館の魅力に改めて気付かされました。梅の時期以外には訪れる機会が少なくなりがちですが、一年を通して魅力を伝えられるようになれば良いと思います。

令和8年度はさらに多くの方にも参加して頂けるように計画的に開催したいと思っています。歴史とともに公園文化を通して偕楽園・弘道館だけでなく、水戸全体の魅力を学び直し、伝えていきたいと思っています。

広報・研修委員会 赤坂 知子
(令和8年度の予定は 最終ページをご覧ください。)



熱心に説明を聞く参加者のみなさん

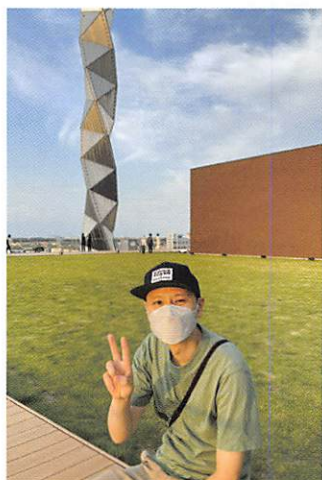


たくさんの梅の種類を学びました

会員紹介

今号の会員紹介は、安藤健太郎さんと上澤利恵さんに、会での活動の様子や思いなど寄せて頂きました。

安藤 健太郎さん



水戸まちなかにも陰と陽を!

私は普段、コイズミ照明(株)で「あかり」に関わる仕事をしております。偕楽園公園を愛する市民の会を通じて偕楽園には陰と陽の世界があることを知り、照明としても学ぶべき点がたくさんあると思います、様々な活動へ参加させていただくようになりました。弘道館で行われている論語塾にもスタッフとして参加させて頂いており、「忠・恕・仁を基本に優れた人材を育てる藩校」で学べるなんて、とても気が引き締まる思いです。日々訪れるたび新たな発見があり、大変興味深く感じております。現代の水戸のまちにも陰と陽、一張一弛の思想に則ったスポットがあり、それを新たな視点で発見・再定義して使ってみたいと思っております。

2009年に水戸に来て以来、水戸の魅力に引き付けられています。まだまだ若輩者ですが今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

上澤 利恵さん



自宅の花壇の相談なども..

朝活を通じて花パートナーの花壇づくりの取り組みを知り、活動に参加させていただいています。仕事があるため毎回の参加は難しいのですが、「参加できるときでいいのよ」と声をかけてくださるメンバーの皆さんと一緒に花壇の整備に取り組む時間が心地よく、時には自宅の花壇の相談などもしながら楽しく過ごしています。

会に加入してからは、活動を通じて偕楽園の魅力をより深く感じるようになりました。季節ごとに表情を変える景色を実感する機会が増え、また会の皆さんとの交流を通して梅染めなど新たな楽しみ方も広がりました。これからは、偕楽園について学びながらその魅力を広めるお手伝いができれば嬉しいです。

活動会員募集のお知らせ

花パートナー活動、朝活ヨガ・ウォーキングでは、随時、活動会員を募集しています。参加をご希望の方は事務局までご連絡ください。

■ 花パートナー活動

毎月 第2月曜日、第4土曜日 9:30~10:30
(季節に拠って活動時間が変わる場合があります。)

■ 朝活ヨガ・ウォーキング

毎月 第3土曜日 6:30~7:30



体験歓迎!

これからの行事案内

令和8年度 楽習会「歴史アドバイザーに学ぶ 水戸の魅力」のお知らせ

歴史アドバイザーに案内してもらいながら水戸の魅力を学び、伝えられるようにするための研修です。あなたも一緒に学んでみませんか？

広報・研修委員会

- | | | | |
|-------|----------------|-----|---------|
| <第1回> | 2026年6月18日(木) | 保和苑 | あじさいまつり |
| <第2回> | 2026年9月24日(木) | 偕楽園 | 萩まつり |
| <第3回> | 2026年12月10日(木) | 弘道館 | |
| <第4回> | 2027年3月11日(木) | 偕楽園 | 梅まつり |
- 募集人数 各10名程度



※日時はすべて予定です。詳細は参加登録して頂いた方に個別にご案内致します。

※参加費は無料ですが、入園料、駐車場代が発生する場合があります。その場合は各自ご負担をお願いします。

「20周年記念シンポジウム」のご案内

令和8年度は本会設立20周年になります。9月に「20周年記念シンポジウム」を企画しています。詳細は改めて会員の皆様にご案内するとともに本会ホームページでもお知らせします。

テーマ：これからの偕楽園公園を愛する市民の会(仮)

会員募集のお知らせ

偕楽園公園を愛する市民の会では会員を募集しています。入会をご希望の方は事務局までご連絡ください。

年会費振込のお願い

偕楽園公園を愛する市民の会は、会員の皆様の年会費に支えられています。年会費は下記のいずれかの口座へ振込をお願いします。振込にかかる手数料はご負担ください。

郵便振替	常陽銀行
口座番号 00170-4-536139	口座番号 本店営業部(004) 普通 2737737
加入者名 偕楽園公園を愛する市民の会	口座名義 偕楽園公園を愛する市民の会 会長 三ッ石 敏

編集後記

- ◇新しい花壇も軌道に乗ってきたようで、頑張っていて活動していますね! 令和8年度は20周年記念シンポジウム(9月)、大名庭園サミット 会津大会(10月)と大きな行事が続きますので、皆様奮ってご参加ください!(H)
- ◇偕楽園公園を愛する市民の会には様々な行事、活動があります。会報でご紹介することで、皆様に会の魅力を感じていただけましたら幸いです。(A)

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒312-0041 ひたちなか市西大島3-14-9 TEL：090-8563-5181

発行：偕楽園公園を愛する市民の会 ホームページ：www.kairaku-en.jp

※当会へのお問い合わせは事務局まで



偕楽園公園を愛する市民の会
ホームページ